

検討委員会での検討が必要として議会等で答弁した事項について

1 運営に係る事項

第1回検討会では…

- ・経費がより掛からない運営手法を検討したい。

⇒直営の場合の想定

人件費年間 1,500万円程度（職員1名、臨時職員3名）

*係長1、臨時職員8時間3人（ガイド等）

⇒他の施設事例

- ・防災センターの設備管理費等 550万円程度（約817㎡2階建て）

光熱水費等 140万円

施設維持管理費 191百万円（設備保守点検等）

休日夜間対応 218万円（シルバー人材委託）

- ・葦山反射炉ガイダンスセンター

維持管理に係る経費 年間3,000万円程度（人件費含む。）

再任用職員1人 臨時職員常時6人 受付（電話）1人 駐車場警備員

*臨時職員は6人のうち2人が勤務（4時間）

入場料収入 H28：1億7千万円以上（H28：42万人 H29：30万人推定）

⇒民間活力等による運営手法の検討

委員からの意見

○田貫湖は入館無料、ソフト有料で実施

○自主財源の確保のためのソフト事業の充実が重要

2 入場料金について

第1回検討会では…

- ・入館料を安く設定し皆様に利用してもらいたい。
- ・維持費程度の回収を検討

庁内での検討

○施設は有料を基本とするが、一部有料（特別ブースのみ）、駐車場利用者への割引等、料金については引続き検討をする。

公園等来場者の状況

⇒わくら柿田川（観光案内所）

- ・ 4/22 以降で 1 万人程度来館

⇒柿田川公園

- ・ 年間入場者 45 万人程度
- ・ 駐車場：56,713 台利用（普通車、有料駐車のみ）

		町営駐車場	湧水の道駐車場	公園正面入場者	合計
①8/13	台	576	96		672
(日)	人	1,622	335	666	2,623
②10/3	台	96	56		152
(火)	人	209	281	78	568
③11/12	台	242	80		322
(日)	人	689	518	453	1,660

*公園利用状況調査から抜粋

*公園駐車場は 3～10 月が利用 4,000 件を超える。（下表参照）

	普通車	バス		普通車	バス
4 月	4,285	30	10 月	4,561	28
5 月	6,691	55	11 月	3,709	43
6 月	4,227	37	12 月	3,126	13
7 月	6,149	27	1 月	3,441	47
8 月	8,253	10	2 月	3,032	24
9 月	4,567	24	3 月	4,672	19
			計	56,713	357

● 管理運営の基本的な考え方

ビジターセンターで提供する5つの機能を具体化する事業の内容と担当組織を計画する。また下記内容の整理を踏まえ、指定管理制度の活用などの運営形態を検討する。

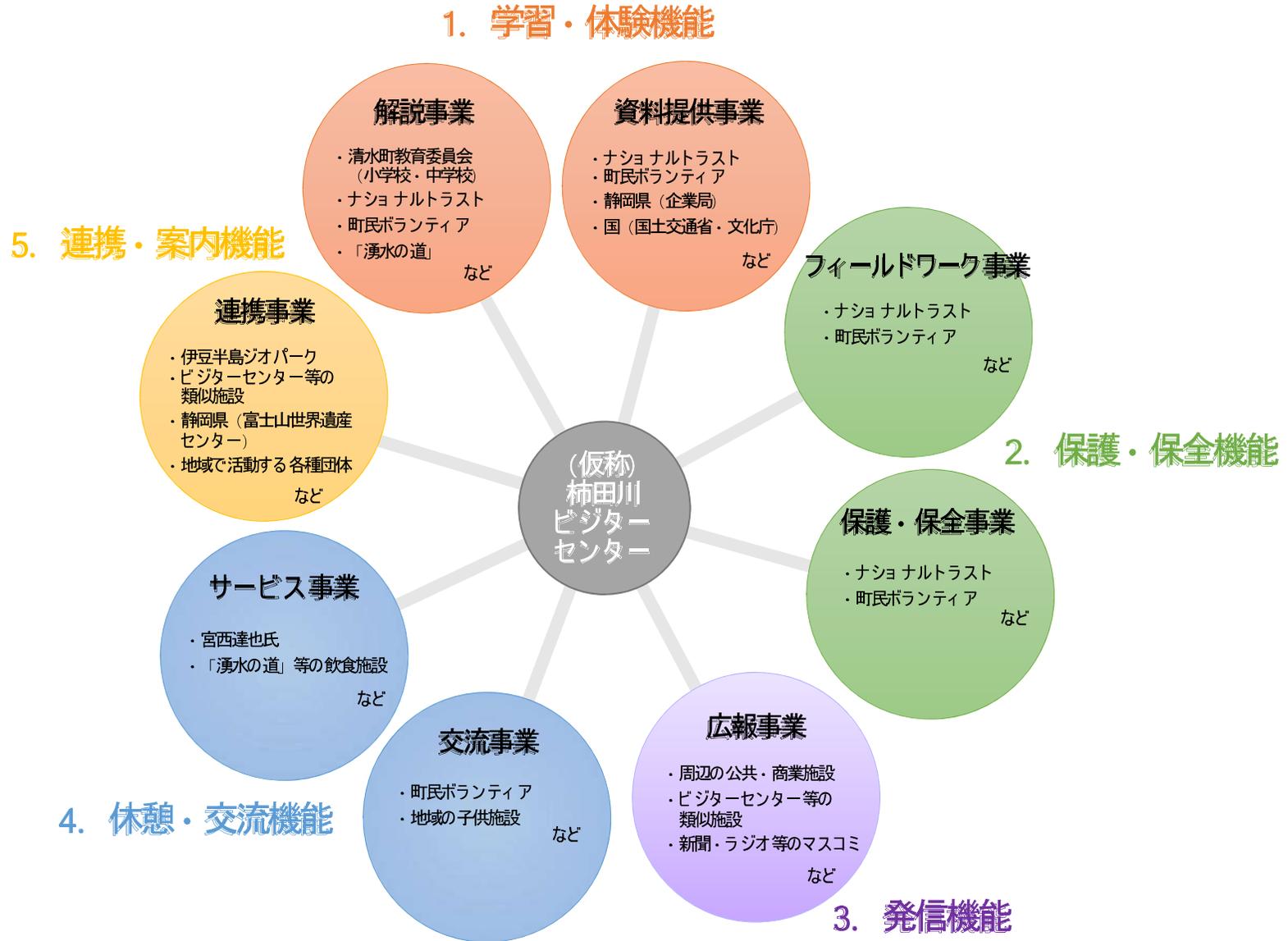
● 事業内容

提供する機能	事業	事業内容	具体例	組織部門
1. 学習・体験機能	a. 展示事業	展示更新	旬な情報の入れ替え等	企画学習部門
	b. 解説事業	展示解説 ※ ワークショップ等の開催 ※ 団体受入対応 ※ 柿田川公園体験プログラムの実施 ※	来訪者への解説対応 豆腐づくりイベントの開催等 地域小学校の社会科見学対応等 野外観察プログラムの実施等	
	c. 資料提供事業	資料収集・整理・保存等 ※	柿田川関連写真の収集等	
2. 保護・保全機能	a. フィールドワーク事業	保護・保全ワークショップの開催 ※ 野外観察備品の貸出 公園散策アプリの導入	外来種駆除イベントの開催等 観察ルーペの貸出等 アプリのダウンロード案内	企画学習部門
	a. 広報事業	ホームページ、SNS等での情報発信 リーフレット類の制作・配布 ※ イベント告知チラシ等の制作・掲示	施設の活動紹介の掲載等 周辺施設でのリーフレットの設置等 翌月のイベントスケジュールの掲示等	
4. 休憩・交流機能	b. 交流事業	地域内外の来訪者が交流する場の提供 ※ 親子向けイベント等の開催 ※	テーマ別の団楽コーナー設置等 未就学児の親子向けイベント開催等	交流促進部門
	b. サービス事業	備品等の貸出 飲料等の提供(販売有の場合) ※	絵本・おもちゃ等の貸し出し 出張カフェ等	
5. 連携・案内機能	a. 連携事業	関係機関との共同事業の企画・実施 ※ 連携展示の制作 ※ 連携プログラムの企画・実施 ※ グッズ等の共同開発・販売(販売有の場合) ※	地域の学校・企業・他施設との連携 連携施設の相互紹介等 施設横断的なスタンプラリー企画等 収益寄付型の絵はがき販売等	交流促進部門
	b. 案内事業	催事・総合案内 チケット販売(チケット制の場合) 関連施設の紹介・誘導	清水町まち歩きマップの配布等	
その他	a. 管理事業	会計 施設・展示等の維持・補修 外構・駐車場等の補修 清掃(展示・外構・駐車場等) 植栽管理 駐車料金徴収 交通整理(繁忙期・混雑時等)	駐車料金収入・人件費管理等 植栽の剪定・草刈り等 繁忙期に交通整理員を配備する等	総務部門

※関連施設・団体との連携を検討

● 関連機関との連携

ビジターセンターの事業実施にあたり連携を想定する関連機関・施設を次のとおりに検討する。



● 施設入館料の考え方

入館料の有料・無料の設定にあたっては、受益者負担の観点に加え、一人でも多くの入館を促す効果や他事例の状況などを踏まえて検討する。

● 有料施設と無料施設の事例および料金設定

【有料施設】

施設名称	設置者	大人	小学生	無料の条件
a. 静岡県富士山世界遺産センター	静岡県	300円	無料	15歳以下・70歳以上・障害者及び介護者
b. 山梨県富士山世界遺産センター	山梨県	420円	無料	高校生以下・障害者及び介護者
c. 静岡県立朝霧野外活動センター	静岡県	720円	100円	なし
d. 静岡科学館 る・く・る	静岡市	510円	120円	未就学児・静岡市内在住・通学
e. こどもクリエイティブタウン「ま・あ・る」	静岡市	300円	無料	18歳未満・障害者及び介護者
f. 箱根ジオミュージアム	箱根町	100円	100円	未就学児

【無料施設】

施設名称	設置者	大人	小学生
a. 田貫湖ふれあい自然塾	環境省	無料	無料
b. 箱根ビジターセンター	環境省	無料	無料
c. 東京都水の科学館	東京都水道局	無料	無料
d. ジオリア (伊豆半島ジオパークミュージアム)	伊豆半島ジオ パーク推進協議会	無料	無料
e. かわさき宙(そら)と緑の科学館	川崎市	無料	無料
f. 井川展示館	中部電力	無料	無料